



The Japanese Red Cross Association  
The Japanese Red Cross Association  
of Radiological Technologists  
of Radiological Technologists

日本赤十字放射線技師会 ニュース  
*j r c a r t n e w s*

日本赤十字社放射線技師会 ニュース 平成21年度 第3号

発行者 日本赤十字社放射線技師会 会長 益井 謙  
(松江赤十字病院)

事務局 松江赤十字病院 放射線科部  
〒690-8506 島根県松江市母衣町 200  
松江赤十字病院 放射線科部内  
電 話 : 0852-24-2111  
e-mail : [jrcst@next.odn.ne.jp](mailto:jrcst@next.odn.ne.jp)

広報部 深谷赤十字病院 放射線科部  
〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5 - 8 - 1  
深谷赤十字病院 放射線科部内  
電 話 : 048-571-1511  
e-mail : [frc-xp@tbe.t-com.ne.jp](mailto:frc-xp@tbe.t-com.ne.jp)

## 『 我達一文字とは 』



日本赤十字放射線技師会  
常任理事 (IT 組織調査部) 石田 智広  
所属：福井赤十字病院

平成 22 年度診療報酬改定の全容が見え隠れ始め、放射線科部と病院経営に及ぼす影響がとても気になるこの頃です。今回の巻頭言は新 IT・組織調査部から一語発信させていただきます。

2009 年、京都・清水寺管主 (かんす) による昨年一年の世相は漢字一文字で・・・「新」が揮毫されました。振り返れば新型インフルエンザ、民主党新政権発足、米オバマ新大統領就任、維新を掲げたプロ野球チームによる日本シリーズ制覇など選ばれるべき一文字は「新」しかないと私なりに予想を立てておりましたが、今回生まれて初めて管主と共感しました。

さて、世相文字で振り返る日本赤十字放射線技師会は昨年 4 月より益井会長体制 2 期目による新執行部を再スタートさせました。また、体制を見直すと共に、新チーム (執行部) の役割も新時代を見据えて対応可能なものとしたしました。組織調査部も IT を駆使した調査・情報発信に主力を置く意味合いから冒頭新名称になっております。私自身も 2 期目の組織調査部担当ですが、1 期目と 2 期目を比較した時、紙ベースの調査から日赤メーリングリストやホットクロスメーリングリストなどの IT 調査が主体となりました。今後は更に HP からの情報発信、収集分析をより簡便に加速させなければとの思いです。

現在、日本赤十字放射線技師の在籍施設数は 92。会員数は 1,300 名弱。同一母体組織の技師会としてはその会員数と施設数、しいてはスケールメリットではおそらく日本有数の一つとして上げられるのではと思いますが、活動内容に於いてはまだまだ発展途上であると実感しています。

全国日赤の技師長 (課長) 様に対してはアンケートなどの情報提供を年数回お願いしているところですが、直接お顔を見る事はできなくとも、こちらの技師長さんは実に先見的に物事を考えていらっしゃる…。一方、あちらの技師長さんは本会に情報を示す余裕もないほどお忙しそうだなあ…などと結構、人柄や施設状況が不思議と見えてくるものです。直接お電話で伺うとそれにも拘らず、大変丁寧に礼を尽くして頂き、逆に忙しいのに申し訳ない気持ちで一杯になります。

今時は年功序列で役職が昇進される時代ではないと言われますが、日赤ではどうなのかと調査の折、興味を持ったことがあります。結論から申し上げますと年功序列は撤廃され、

年齢、経験年数に関係なく人事が施行されているところが多く見受けられます。内外からは「日赤は保守的組織の代表者」と言われてきましたが、近年の人事は個人能力に応じて評価している模様です。ただし、それはうわべだけで決して内部状況を模倣しているかは定かでないですが。

一昨年からは日赤本社規定に則った勤務評定が全国赤十字施設で施行されています。若い技師が頑張った分、或いは中堅技師が実績を重ねた分評価される事になります。個人面談の際、彼達に言うのですが、「一生懸命仕事に打ち込み、業務実績を上げた分がそのまま評価され、給与が上がり、そして昇任に繋がる。何て君たちは幸せなんだろうね。だから頑張れ！」と。

ユビキタス日赤放射線技師会、ホームページが一新され、会員間の必要な情報のやり取りが簡便になりました。また、全会員が所属する学術6分科会も世話人抱負の通り軌道路線が定まり、打てば響く鐘も鳴り響いています。執行部の成すべき課題は山のようにありますが、会員諸兄にはぜひHPにMLに能動的に働き掛けをお願いしたいところです。

それは日赤勤務評定・業務遂行能力の①「知識・識見」②「企画立案・構想力」⑤「折衝・調整力」⑦「接遇・安全管理行動」の評価指標の根拠にも成り得るからです。その意味で今年一年の我達一文字は、「能」を当てがいたいものです。無論、執行部もそうあるのは云うまでもないですが。

最後になりますが、本年も会員の皆様のご健勝にお過ごしされますよう、心より祈念申し上げます。

平成 22 年度全国赤十字放射線技師学術総会研究発表の演題募集について

学術総会プログラム委員会  
浅妻 厚 久保田 利夫

平成 22 年度全国赤十字放射線技師学術総会の開催にあたり、会員研究発表の演題募集についてご案内いたします。下記応募要綱を熟読の上、多数ご応募いただけますようお願い申し上げます。

なお、演題の申し込みにつきましては、メール対応のみとさせていただきます。

記

日 時 平成 22 年 6 月 10、11 日  
会 場 東京国際フォーラム 409 号室

応募資格 日本赤十字放射線技師会会員に限る。又、複数施設での共同研究発表も可。

発表形式 p c プレゼンテーションによる口述発表で、横一面投影のみとする。

なお、本年より使用 p c は、原則として個人持込とする。(OS 及び使用アプリケーションは自由とするが、モニタ出力端子は D sub-15pin での接続のみとする。  
(他方式出力 p c の場合は、個々でアダプタをご用意下さい) アニメーション・動画は自己責任のもとで可とする

発表時間 8 分 (時間厳守) 質疑応答は別枠で 2 ~ 3 分

演題区分 ①透視・撮影 ②X線CT ③MRI ④核医学 ⑤放射線治療  
⑥医療情報・管理・運営・教育 ⑦ペイシェントケア・その他

応募要領 演題区分、演題名、演者名、施設名を明記の上、必ず 400 字程度の発表概要を添えて [a-asazuma@kobe.jrc.or.jp](mailto:a-asazuma@kobe.jrc.or.jp) までお申し込みください。尚、メールの件名は研究発表でお願いします。又、本会ホームページの会員専用欄「学術総会演題申し込み」からも申し込むことができます。

締め切り 平成 22 年 2 月 28 日

採 否 学術総会プログラム委員会にて審査し、演題の採否をご本人にメールにて通知いたします。また、演題が採用された方には、追って抄録要項についてご案内いたします。

申し込み及び問い合わせ先

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-1  
神戸赤十字病院 放射線科部 浅妻 厚  
Tel 078-231-6006 (内 5107)  
e-mail [a-asazuma@kobe.jrc.or.jp](mailto:a-asazuma@kobe.jrc.or.jp)

第46回日本赤十字医学会総会の公式ホームページが立ち上がりました。今後順じ演題募集等が、更新になりますので、ホームページにてご確認下さい。

第46回日本赤十字医学会総会URL：<http://www2.convention.co.jp/46jrcms/greeting.html>



メインテーマ  
**今こそ力を合わせ、  
 医療の荒波を乗り越えよう**

会長	飯沼 一字（石巻赤十字病院 院長）
会期	2010年11月11日(木)・12日(金)
会場	仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 Tel: 022-265-2211（代表）

第46回日本赤十字社医学会総会 総会事務局石巻赤十字病院 企画調整課  
 〒986-8522 宮城県石巻市蛇田字西道下71番地  
 TEL. 0225-21-7220 FAX. 0225-96-0122

問い合わせ 日本コンベンションサービス株式会社 東北支社  
 〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6階 TEL: 022-722-1311 FAX: 022-722-1178  
 E-mail: [46jrcms@convention.co.jp](mailto:46jrcms@convention.co.jp)

### 平成 22年度会員調査のお願い(予告)

IT・組織調査部 石田智広

IT 組織調査部では H22 年度予定として例年通り、新入会希望者や退職・異動会員、役職等の変更を把握するために「会員調査」を行います。

つきましては、技師長(課長)及び会員の皆様には管理内容の正確性を記するためにご協力下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、調査用紙は5月上旬に発送する予定でございます。速やかなご返信をお待ちしております。

### 会費納入について

日本赤十字放射線技師会 財務部

平成 22 年度の日本赤十字放射線技師会会費の納入をお願い致します。

日本赤十字放射線技師会の運営は、会員の皆様の会費にて成り立っております。会費の納入は、日本放射線技師会会費納入規定により当該年度当初に納入するものとなっております。円滑な運営のため、早期の納入をお願いいたします。また、本社研修会時においても受付をいたしますので宜しくお願いいたします。

#### 1、会費額

現会員	3,000円(年会費)	3,000円
新入会員	3,000円(年会費)+1,000円(入会金)	4,000円
再入会員	10,000円(再入会金)	10,000円

\* 会費三年間未納の場合退会とし、再入会金は10,000円とする。

(日本赤十字放射線技師会会費納入規定より)

#### 2、納入方法

会費の納入は、日本赤十字放射線技師会財務担当まで銀行振込にてお願いいたします。振込みにあたっては個人名ではなく病院名でお願いいたします。

口座名

日本赤十字放射線技師会 一般会計 前川栄寿

口座番号

京葉銀行 成田支店(311) 普通 8052321

#### 3、お問合せ

振込に関する事、請求書に関する事など、会費納入についてご不明な点等ございましたら、担当者までご一報いただければ幸いです。

日本赤十字放射線技師会 財務部 前川栄寿

(所属) 成田赤十字病院 放射線科部

(電話) 0476-22-2311

(メルアド) [booster@u01.gate01.com](mailto:booster@u01.gate01.com)

## 出退勤管理システム『TimeWorks』の導入

成田赤十字病院 阿部真波

当院では平成 21 年 11 月から出退勤管理システム『TimeWorks』の運用が開始されました。これまでは出勤簿への押印と超過勤務表への超過勤務時間と理由の記入、休暇届けの提出により管理されていました。また、出勤簿や超過勤務表は 1 ヶ所に置かれ、そこで押印・記入していましたが、業務が多忙であるなどの理由で忘れてしまうことがありました。しかし、このシステムの運用によって、職員の出退勤時刻の打刻はもちろん、休暇届などの申請もすべてイントラネットでの管理が可能となりました。イントラネットにつながっている PC は放射線科内で 12 台あり、手の空いたときにいつでも入力できるようになりました。このシステムの導入によりデータベース化がスムーズとなりペーパーレスも実現されました。また、ログインには ID とパスワードが必要となるため、個人情報も守られます。実際使用してみると、これまで出退勤時の打刻が必要なかったため、最初は忘れそうになることが何度かありましたが、すぐに慣れました。また、当院の放射線科は 2 交代制と拘束業務により 24 時間救急対応していますが、実際には一部の業務に関して超過勤務表への記入も並行して行われており、現在のシステムでは部分的に対応しきれず、完全には移行できていません。病院に勤務体制が異なる職種が数多くあり、こうした問題の改善が期待されます。

場所や時間を気にせずに気軽に実績の入力が可能となり、PC の 1 画面で自分の勤務予定や実績の確認が出来るようになって、今まで以上に個人による勤務の管理意識が高まりました。今後もあらゆる面でデジタル化・ペーパーレス化されることが予想されますが、今回のようにシステムに興味を持ち、対応していきたいと思えます。